

プロフィール



永井 玉藻 (ながい たまも / 19・20世紀舞台音楽学者)

桐朋学園大学卒業、慶應義塾大学大学院を経て、パリ第4大学博士課程修了。博士(音楽学)。現在、東京大学大学院人文社会系研究科特任研究員(日本学術振興会特別研究員-RPD)、慶應義塾大学、白百合女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。西洋音楽史とバレエ史を研究対象とし、特に19～20世紀のフランスにおけるオペラ、バレエ、歌劇場運営の考察を通して、音楽と身体表現の相関関係を歴史的視点から再検討している。著書に『バレエ伴奏者の歴史 19世紀パリ・オペラ座と現代、舞台裏で働く人々』など。また、パリ・オペラ座バレエのダンサーへのインタビュー記事や、ウェブメディア「バレエチャンネル」での長期連載「【マニアックすぎる】パリ・オペラ座ヒストリー」などの執筆活動も行なっている。



櫻井 希 (さくらのぞみ / フルート)

宮城教育大学を卒業。第155回日演連推薦新人演奏会において仙台フィルと共演。第10回仙台フルートコンクール一般部門第1位。平成27年度宮城県芸術選奨新人賞。仙台クラシックフェスティバル2024・2025に「Ensembleなでこ」として出演。ミュージックプロデュースMHKS会員。



佐々木 歩望 (ささき あゆみ / テューバ)

仙台市出身。宮城県仙台第二高等学校を経て東北大学文学部人文社会学科卒業。第32回日本クラシック音楽コンクールテューバ部門最高位等。テューバを久高義彦・金宇浩の各氏に師事。第30回浜松国際管楽器アカデミーにてステファン・ラベリ氏のマスタークラスを受講。MHKSアーティスト会員。



橘 敬登 (たちばな かつと / マリンバ)

宮城県栗原市出身。尚美学園大学打楽器専攻卒業。これまで打楽器・マリンバを竹内将也、安藤徹、牧野美沙の各氏に師事。フリーランスのプロの音楽家として、宮城を拠点に東北各地や東京において、演奏活動、及びレッスンを行っている。ヤマハインストラクター。

【東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター】

本センターでは、超高齢社会における個人と社会の活力維持とスマート・エイジングの実現を目指しています。国内外の研究機関と連携し、様々な企業と共同研究を行うことで、子どもから高齢者まで全ての世代を対象に、ライフステージに合わせた幅広い研究を推進しています。研究による知見を社会に還元し、社会実装に結び付けていくことを重視しています。



センター長 瀧 靖之

【一般社団法人ミュージックプロデュースMHKS】

2008年、質の高いクラシック音楽を気軽に楽しんでもらいたいという想いから、任意団体MHKS(エムエイチケーズ Music for Hearts Keeping on Smile)を結成し、様々なコンサート等を手がけてきました。その後2019年に一般社団法人となり、更に音楽を通しての幅広い社会貢献にも力を注いでいます。



理事・ピアニスト 田原 さえ

「スマート・エイジング生涯健康脳達成プロジェクト支援基金」へのお願い。

このプロジェクトは、認知症予防の研究を推進し生涯にわたる健康な脳の維持を目指す研究活動です。

頂いたご寄付は研究活動や環境の充実に役立てられ「生涯にわたる健康な脳」の実現に寄与します。

皆様の温かいご支援を心よりお待ちしております。



詳細はQRコードからご確認ください。